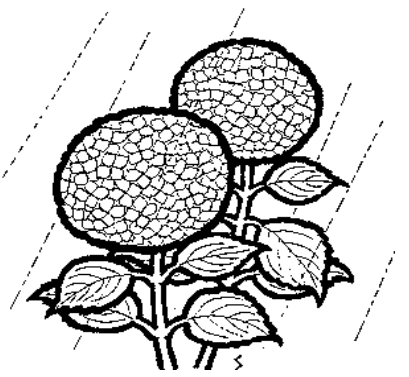


「お父さんはキリスト」 グリニッチ福音キリスト教会 牧師 立石尚志



教会に来られている既婚女性で夫がクリスチャンでない方は多い。なんとか信仰に關心をもってもらいたいという妻たちの願いもむなしく時が過ぎていくのだが、それでも感謝なことに、食事やバーベキューの企画には御主人方が来て下さることが多い。多くの日本人が宗教全般に対し不信感を抱き、宗教は虚業というイメージを持ち、さらに宗教からの勧誘はとにかく避けたいという風潮の中、来てくださった方と何とか共通の話題を見つけて会話を進めていくことができるのはうれしいことである。傾聴を心掛けつつ、キリストの話しを切り出すために、時折、お父さんたちに、「お父さんはキリストと同じようなのですよ」と申し上げることがある。

お父さんはキリスト

エッ、と聞き返していただくことが肝心なのだが、何を言いたいのかというと、お父さんは家族／妻子のために自分の命を張っている存在である、と言いたいのである。イエス・キリストという称号は、イエスという人物がキリスト、つまり「救世主」であるという宣言である。クリスマスに人の子として生まれた神の御子イエスは、十字架において、全人類の罪をその身に負って、自分の命を張って人類の救いの業を全うされたというのが聖書の主張である。他者のために全存在を捧げる、これがキリストなのである。

共稼ぎが多くなったとは言え、依然多くの父親たちは毎日朝から夜遅くまで働き、食料、被服、住居、教育、移動、余暇、備蓄のライオン・シェア（「大半」という英語の表現）をその体をもって叩き出す。働くこととは、命を削って財を生み出すことであるが、生み出された財の大部分は家族を養うために用いられ、さらに税金を通して他者を生かすために使われる。好むと好まざるとお父さんたちは、その生涯の大半を他者のために捧げて生きているのである。このポイントにおいて、お父さんは意識しようとしまいと、まさにキリストのような存在なのだ。

鉄ナベと陶器

昔の中国の文献（孟子）には成人男子は土地／能力等の条件が良ければ一人で九人を養う収穫を上げることができる、とある。時代は変わったとは言え、私たちは相変わらず米であれ、麦であれ、「種」を食べ続けており、究極的には農業に依存している存在であるが、直接農業に従事しているか否かに拠らず、家族のために食料を確保する最もベーシックな仕事は依然男達が担っており、この事実は古代より変わっていない。なぜか？それは男が重労働に耐え、汗を流して家族のために働くことは、創造主である神が制定した秩序だからである。ある牧師が男女を比較して男を鉄鍋、女を陶器と言ったが、なるほどと思った。鉄鍋は過酷な扱いに耐えるように出来ており、叩かれても壊れたりしないが、陶器は大切に扱う必要がある。鉄鍋はお茶を飲んだり、美を追及したりするためにはできていないが、多くの人のために料理を作るために用いられる。鉄鍋と陶器に優劣はなく、それぞれ働きが違うのと同じように、神

は男女にそれぞれの役割を与えられた。だから男が男の役割を果たしているなら神を知らなかったとしても、神から与えられた使命を全うしていることになる。

罪の問題と「評価のジレンマ」

女性は「助け手」として創造された聖書は教えているが、実際、世の中を眺めてみると、助ける対象を見いだしている限り、女性は人生、あまりくよくよ悩まずに力強く生きていっているように見える。一方男性はどうであろうか。世界中どこでも投獄されている囚人の8～9割、場合によってはそれ以上が男性である。自殺や精神疾患も女性に比べて男性がかなり多い。このことについても聖書は非常に大切なことを教えている。それは「評価」の問題である。

男性は神から仕事を与えられ、神のために仕事をし、神からの評価で生きる、というのが聖書の教える「男性の労働観」である。創世記2章におき、女性が創造される以前、男は神からエデンの園を耕し、守り、さらに動物を命名する仕事を与えられた。ところがここに罪の問題が入り込む。聖書が教える「罪」とは神を神とせず、神を無視し、神抜きに自分の力で生きて行こうとする心の心の決心、心の姿勢であるが、罪はこの点で「労働」を根本からゆがめてしまった。どういうことかと言うと、罪は「評価者」を神から人に置き換えてしまったのである。

神からの評価を基準に生きるのをやめるなら、神以外・・・自分、あるいは他人、社会から「よくやった」と言ってもらわなければならない。ところが人の評価ほど移ろいやすいものはなく、あてにならないものはない。社会で評価される人もほんの一握りでしかない。男性はここに「誰か、俺のことを大切に、と言ってくれ！」という心の叫びをもつことになる。それが外に向けられると、名誉欲や支配欲、さらに犯罪や暴力となり、内側に向けられると自殺や心の病になっていく。この欲求を満たすことのできる唯一の存在は神なのであるが、神以外のところに満たしを求めるところに評価のジレンマが生じるのである。

男性の回復の道

エレミヤ24:7 わたしは彼らに、わたし
が主であることを知る心を与える。彼ら
はわたしの民となり、わたしは彼らの神

となる。彼らが心を尽くしてわたしに立ち返るからである。

多くのお父さんは、誠実に生涯を送り、家族のために自分の人生を費やす。そして「多分これでよかったのだろう」と漠然と思うに違いないが、神から「それでよかったのだよ、よくやった。」と言われてもらえるなら、どんなに深い満足と喜びを得ることができるだろうか。神はその喜びをお父さんたちに返したいと切に願っておられるのである。■

ハーベストタイムTV

今、生き直す～DVシェルターの現場から～/栗原加代美さん

この便りの最後にいつも案内しているハーベストタイムTVの最近の番組で、DV/家庭内暴力の被害者の保護と支援に取り組む働きが紹介されていた。シェルターには肉体的、または言動的暴力から逃れるため着のみ着のままの人たちがやって来るそうだが、最初の頃、シェルターのスタッフにも躓き、結局シェルターを飛び出してしまう人々がいたとのことである。原因はスタッフがいつの間にかDV加害者が出てきたのと同じような言動や態度で被害者達と接していたことだったのだそう。そこでシェルターのスタッフ達は「人間関係を破壊する七つの習慣」をしっかりと覚え、そのかわりに新しい七つの習慣を身に付けることにしたそうである。DVシェルターでの働きだけでなく、普段からの夫婦関係、親子関係、人間関係全般にも適用できる内容であり、是非紹介したい。

人間関係を破壊する七つの習慣

- 1) 文句を言う
- 2) 責める
- 3) 罰する
- 4) ガミガミ言う
- 5) 脅す
- 6) 批判する
- 7) 褒美でつる

身に付けたい新しい七つの習慣

- 1) 支援する
- 2) 勇気づける
- 3) 傾聴する
- 4) 受容する
- 5) 信頼する
- 6) 尊敬する
- 7) 違いを話し合う

このリストを見て、番組司会者の中川師が「僕、今すぐ学んでいる！」と言っていたのが印象的であったが、このリストを自分の物にすることができたなら、確かに人間関係、ずいぶん改善されるに違いない。ポイントは「訓練」にある。このような習慣が自動的に身に付くことはあり得ない。自分の一部になるまで、練習、練習、練習である。

※栗原氏は私が以前牧師を務めていた教会の会員であり、失敗だらけの駆け出し牧師であった私はどれだけこの方に励まされて来たかわからない。まさに神の適材適所！

信仰告白（受洗の証し） K. M. 兄

4月12日イースターにグリニッチ福音キリスト教会にて受洗

1. 環境

私の13歳のとき不慮の事故で母を亡くして以来、世の中の不公平さから神の存在を信じられるものではなく、それ以降40年余りは、神を敬遠し、神からはまったく遠ざかっていた人生でした。80年に日本で結婚し、82年長男、84年長女が生まれ、その後90年初め米国に移りましたが、そのころは家族にとっていろいろな不安や心配が交錯した時期でした。渡米一年後の91年に妻と子供たち家族は、なぜかそのような状況中、受洗しクリスチャンとなりました。しかし私とはかく自分がやらないとこの異国の地で助けなどありえないと常に思い自分ひとりが頼りだがむしろに家族を支えるため19年間仕事に励んできました。2006年娘が大学を卒業し、二人の子供たちへの責任からは解放され親の勤めは果たしたと感じていました。これからは自分のためにとゆっくりと将来設計をと考えはじめていたのですが、何か虚脱感や焦燥感が募るだけで、満たされることはありませんでした。そんな中、妻とは人生の価値観、目標など、ことごとく違った方向を歩いていることに気づき始めました。

2. 出会いと決心

私の聖書や教会との出会いは家族からの影響を受けて、教会への訪問、聖書の学びやセミナーへの参加等以前にも多々あったのですが、導きを感じることはまったくありませんでした。しかし先ほど言いましたように、2006年頃から何故か自分では、思い通りにならないあせりや解決できない疑問を強く感じるようになり始めていました。そんな状況の中、聖書やキリストについて今までの疑問を晴らすため、一度学んでみようと思うようになり始めました。

そういう思いが強くなった2008年の初めのころ、何故か、クリスチャンではない私の同僚からのハーベストタイムの紹介があり、毎週ビデオに取り週末見始めたのが聖書を本格的に学ぶきっかけとなりました。今までとは何か違った感じがし、親しみやすくまた分かりやすい解説で新鮮に感じるようになっていきました。その後一度教会へいってみたいと思うようになり、この番組を通して、グリニッチ福音キリスト教会を紹介していただき立石牧師とお会いし、お話をすることが出来ました。

その後マウントキスコでの聖書の学びへの誘い、教会主催の教養講座への参加といろいろな機会が与えられ、徐々に学んでいくことが出来るようになりました。昨年夏、講師にハーベストタイムの中川健一先生を迎えた東海岸日本語合同ファミリーキャンプへの参加を通して、「神と共に生きる喜び」に感動を強く受け、神を受け入れる決心が高まって来たのを強く感じました。学んでいく中ではいろいろな葛藤や疑問等があふれ何度も挫折を味わったものですが、とにかくマウントキスコ平野宅での小グループでの聖書の学びで、牧師先生はじめメンバーの方々からいろいろなことを学び、暖かいサポートに助けられ1年間継続することが出来ました。

当初の疑問には結局、完璧な答えを得ることはなかったのですが、学びを通して、神の存在、聖書を受け入れたことによって、抵抗も薄らぎ、より身近ものと感じられるようになり、受け入れる心が大きく広がっていったのを強く感じるようになりました。結局私にはセンセーショナルな事やミラクル的な出来事や経験からの導きはありませんでしたが、いろいろな学びか



ら徐々にではあったのですが、私自身が罪深い存在であることを認められるようになり、悔い改めてイエス・キリストを主として崇めていく人生を歩む決心ができました。

3. 感謝

米国に移ってから今まで、たくさんの方々からいろいろの機会が与えられ、さらに励ましやサポートを頂き、今日やっと2009年4月12日のイースターに受洗を迎えることが出来るようになった導きに深く感謝しています。以前から息子のことでいろいろと悩むことが続いていました、そんな時、妻が息子を通して信仰に導かれるとの確信が与えられていたと聞かされましたが、今現実になっているのは大変不思議に感じますが、まさしく神の導きだと強く感じています。このように長年祈り続けてくれた妻や家族に感謝すると共に、これでやっと同じ方向に立てたことと同じページで共に考え、歩むことが出来るようになったことに深い喜びをも感じています。更にこれから、同じ信仰を持つクリスチャンの方々と一緒に御言葉学んでいける喜びを感じています。

最後にここまで私を導いてくださった、ハーベストタイムの中川先生、立石先生、小グループの方々、教会の皆様、そして神様の導きに深く感謝申し上げます。■

■ 6月～10月の集会・行事予定 ■

※ 下記以外にも週の間、入門クラス、聖書の学び会が定期的に行われています。お問い合わせください。■ 予定が変更になることがありますのでご確認ください。

- 【定例集会】
- ★ 日曜礼拝 / 10:00～11:20
- グループ会 / 11:30～12:15
- 大人、子供それぞれのクラスに分かれます
- 【各種集会】
- ★ グリニッチ家庭集会 (場所は電話で)
- 9月再開 原則第一金曜 10:00am
- ★ グリニッチ聖書を読む会 金曜 10:00am
- (場所は電話でご確認ください)

- ★ スタンフォード聖書を読む会
- 毎週水曜 1:00pm 場所: 井上宅★
- ハリソン聖書入門講座
- 9月再開 原則隔週火曜 10:00am
- 場所: ハリソン長老教会
- ★ ニューヘイブン聖書を読む会
- 月一回木曜 10:00am 場所: 日比野宅
- ★ ハートフォード聖書を読む会
- 月一回木曜 10:30am 場所: テイラー宅

- ★ メンズ・バイブル・フェローシップ
- 月一回水曜 8:00pm 荒木宅 or 教会
- 月一回土曜 14:00pm 荒木宅 or 教会
- ★ マウントキスコ聖書を読む会
- 毎週木曜 or 金曜 8:00pm 場所: 平野宅

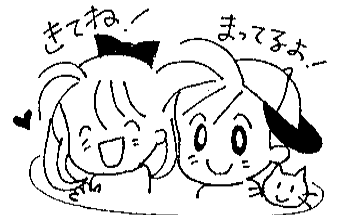
【特別行事】

- ★ 夏の子供バイブルキャンプ (下記)
- ★ 10/10(土) 秋の一日バザーセール
- 寄付品受付中です。

★ 夏の子供バイブルキャンプ 8/25(火)～28(金) 午前 9:30～午後 2:30

今年のバイブル・キャンプは火曜日から金曜日までの四日間！ 時間も朝9:30am から2:30pm まで延長されました。さらに今年は年中さんから参加できます！いつものように、ゲーム、工作、歌などお楽しみいっぱいです。是非、お子さんをお送り下さい。お待ちしております。●対象年齢：日本の学齢で年中から小学6年まで ●参加費用：50ドル (部分参加の場合一日15ドル)

- ★ハーベスト・タイム: 毎週金曜朝8時よりWMB Cあるいは <http://www.harvesttime.tv/>にて
- ★ CGNTV インターネット TV 放送 <http://japan.cgntv.net/>
- ★ 日本語ウェブ放送: BBN 聖書放送 <http://www.bbnradio.org/japanese/>



《教会住所》グリニッチ福音キリスト教会 (Japanese Gospel Church of Greenwich)、牧師 立石尚志
c/o St. Paul Ev. Lutheran Church, 286 Delavan Ave. Greenwich, CT 06830 website: www.jgclmi.com
《問い合わせ》教会 TEL/FAX (203) 531-6450、牧師宅 TEL/FAX (203) 531-1609、e-mail: jgclmi@verizon.net

